

## IBM Watson Tone Analyzer

以下に記載される場合を除き、IBM Cloud の「サービス記述書」の条件が適用されます。

### 1. クラウド・サービス

IBM Watson Tone Analyzer サービスでは言語分析を使用して、テキストに含まれる情緒的、社会的および言語的な手掛かりを検出して解釈します。このサービスにより、各テキストの文および文書の両方のレベルに表れるトーンを発見して理解することができます。

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Watson Tone Analyzer Standard

Standard は、IBM Cloud Local で適用される「クラウド・サービス」のマルチテナント・デプロイメントです。

- Standard デプロイメントは、Lite プランまたは Standard プランで提供されます。

##### 1.1.2 IBM Watson Tone Analyzer Premium

Premium は、IBM Cloud Local で適用される Premium プランを備えた「クラウド・サービス」のシングルテナント・デプロイメントです。Premium デプロイメントでは、共有 IBM Cloud インフラストラクチャーにおいて、隔離されたコンピュート・コンポーネント、転送中データと保存データの暗号化を備えた「クラウド・サービス」が提供されます。

##### 1.1.3 IBM Watson Tone Analyzer Dedicated

Dedicated は、IBM Cloud Dedicated における「クラウド・サービス」のシングルテナント・デプロイメントです。

### 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

このサービスに適用される「データ・シート」および本条の条件には、このサービスの使用についての詳細および条件が規定されています。これには、お客様の責任が含まれます。以下の「データ・シート」が本サービスに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=3F26B29034AF11E58AF985BE84618DBC>

### 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

#### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

基本の IBM Cloud の「サービス記述書」に定められているサービス・レベル・アグリーメントが、このサービスに適用されます。

#### 3.2 テクニカル・サポート

基本の IBM Cloud の「サービス記述書」に定められているサポート用語が、このサービスに適用されます。

### 4. 料金

#### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「API 呼び出し」は、プログラマブル・インターフェースによる「クラウド・サービス」の呼び出しです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

## 5. 追加条件

### 5.1 継続的デリバリーおよびモデル改善

#### 5.1.1 継続的デリバリー

本項は、**Standard** および **Premium** の各デプロイメントにのみ適用されます。

「クラウド・サービス」のこれらのデプロイメント計画は、お客様に対してダウンタイムを引き起こさない更新を可能にする、継続的なデリバリー・モデルに基づいて実行されます。

#### 5.1.2 モデルの改善

「クラウド・サービス」上の基礎学習モデルはその性能を向上させるために、学習に基づいて、**IBM**により定期的に変更される場合があります。モデルの更新は資料で伝達されます。お客様が「クラウド・サービス」上でトレーニング済みの既存モデルは、すぐに影響を受けることはありません。有効期限が切れたモデルは、お客様により更新されていない場合、新規モデルが利用可能になってから 60 日後に、「クラウド・サービス」を中断することなく最新モデルに更新されます。

### 5.2 データの破棄

本項は **Standard** デプロイメントにのみ適用されます。

**IBM** は、不使用の状態が 120 日を超えたお客様の「コンテンツ」を破棄する権利を留保します。

## 6. オーバーライド条件

### 6.1 お客様コンテンツおよびデータの利用

#### 6.1.1 コンテンツおよびデータに関してお客様が許諾する権利

本項は **Standard** デプロイメントにのみ適用されます。

両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します: **IBM** は、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果 (以下「洞察」といいます。) や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただし **IBM** は、「クラウド・サービス」の一環として、「コンテンツ」および「クラウド・サービス」を提供する過程で得られた「コンテンツ」に由来するその他の情報 (「洞察」を除きます。) を、調査、テスト、および「クラウド・サービス」関連のオフファリングの開発のために使用します。

#### 6.1.2 フィードバック

お客様は、**IBM** が **IBM Watson** を拡張するよう提案できます (「フィードバック」)。お客様には「フィードバック」を提供する義務はなく、**IBM** はお客様が提供するすべての「フィードバック」を自由に使用できます。

#### 6.1.3 オファリングの構成

本項は **Standard** デプロイメントにのみ適用されます。

お客様は、お客様の「コンテンツ」を送信する際に以下のヘッダーで **REST API** 呼び出しのヘッダーを変更することにより、「継続的デリバリー」に概要が記載された目的でお客様の「コンテンツ」を使用しないように **IBM** に指示することができます。

「X-WATSON-LEARNING-OPT-OUT: 1」

例えば、お客様の元のリクエストが以下の場合:

```
curl -u <username>:<passwd> -H "Accept: application/json" -d <payload_data> <service_url>
```

お客様はそれを以下のとおりに変更する必要があります。

```
curl -u <username>:<passwd> -H "Accept: application/json" -H "X-WATSON-LEARNING-OPT-OUT: 1"  
-d <payload_data> <service_url>
```

お客様がお客様の REST API 呼び出しのヘッダーを変更した場合、IBM は、「クラウド・サービス」の将来のプロビジョニングにおいてその指示に従い、当該送信に関連するお客様の「コンテンツ」を使用しないものとします。ただし、IBM Cloud の「サービス記述書」に従って別途許可される場合は除きます。ヘッダーは、データ送信の都度、変更しなければなりません。

#### 6.1.4 トレーニング用データ

両当事者間の本サービス記述書の「データ処理および保護データ・シート」項および「クラウド・サービス」の基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項において参照される、「データ・シート」に矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。「データ・シート」は、「クラウド・サービス」内で一般的に処理される可能性のある「個人データの種類」および「特殊カテゴリーの個人データ」を定めています。お客様は、本「クラウド・サービス」に含まれる「個人データの種類」、「特殊カテゴリーの個人データ」、またはその他の「個人データ」を、トレーニング用のデータとして、または「クラウド・サービス」およびカスタム・モデルのエンリッチメントのために使用してはなりません。